

平成22年度 臨時社会教育委員会議事録（議事要旨）

- 1 **開催日時** 平成22年4月15日（木）午後2時～4時
- 2 **開催場所** 中央図書館 2階 視聴覚室
- 3 **出席者**
 - (委員)
舟田委員長、杉山副委員長、小坂委員、和田委員、井上委員、中尾委員、工藤真由美委員、宮本委員
 - (事務局)
教育長、教育次長、生涯学習部長、同次長、生涯学習部副参事（高洲公民館担当）、生涯学習課長、生涯学習課主幹、郷土博物館長、青少年センター所長、市民スポーツ課長、市民スポーツ課ゆめ半島千葉国体推進室長、運動公園スポーツ施設整備課長、中央公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、中央図書館長、青少年課長、生涯学習課課長補佐、同生涯学習係
- 4 **議題**
 - (1) 第6回定例会議内容の確認
 - (2) 協議事項
 - 1) 平成22年度社会教育関係団体活動補助金の交付予定について
 - 2) 社会教育関係団体の認定の取消しについて
 - (3) 報告事項
 - 1) 社会教育関係団体の解散の報告について
 - 2) 平成22年度事業計画について
 - (4) その他
 - 1) 次回会議日程について
- 5 **議事概要及び会議経過**

開会前に職員の異動状況を報告し、自己紹介を行った。

 - (1) 第6回定例会議内容の確認
平成21年度第6回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）の内容を確認し、了承された。
また、生涯学習課長より、第5回定例社会教育委員会議事録において社会教育関係団体の認定を承認された「仲良し会」の名簿が再提出されたことについて報告した。
 - (2) 協議事項
 - 1) 平成22年度社会教育関係団体活動補助金の交付予定について
補助金交付予定のある担当課（館）長より内容を説明し、委員より意見を求め、承認された。
委員からの質問及び意見は、次のとおり。
生涯学習課
(質問) 補助金交付の規定や算出方法はどのようになっているか。
(回答) 「浦安市社会教育関係団体活動補助金交付要綱」において規定している。活動に必要な額の申請を受け、前年度の実績報告に基づいて予算計上している。

- (質問) 予算・決算のあらましを添付してはどうか。
(回答) 検討する。
(質問) 婦人の会の補助金の増額分については、記念誌の刊行以外にどのような事業を行う予定か。
(回答) 増額分の対象となるのは、記念誌の刊行のみである。
(意見) 以前は記念誌に広告を載せて広告料を取るなどしていたが、今は広告がほとんど取れないので、けっこうな金額がかかるのだと思う。

郷土博物館

- (質問) 舟大工技術保存会について、具体的に教えてほしい。
(回答) 主に事業用の消耗品や船補修用の消耗品が対象である。舟釘や鋸の刃の購入などを予定している。
(回答) 浦安が漁師町であった頃に舟大工をしていた方が、もう数名しか残っておらず高齢化している。また、経験に基づいた技術であるため、なかなか継承する人がいない。舟大工の技術を伝承するため、船の模型を作製したり、博物館の船の補修等をお願いしている。
(質問) 若い人にも指導しているのか。
(回答) べか舟の製作実演やミニチュア模型作り教室などの開催を通じて会員の募集をしようとしているが、やはり1, 2年では習得することが難しく、なかなか会員も入ってこないという現状である。
(意見) もう少し人数が増えるとよいと思う。

市民スポーツ課

- (質問) 体育指導委員連絡協議会の会員数が少ないように思うが、どのような用途か。
(回答) 市が委嘱している非常勤職員が35名おり、公民館や体育館を会場に市民が参加できるような地区活動を行っている。この地区活動にかかる経費や研修会の参加費用等を対象としている。
(意見) 毎週地区ごとに行事が行われている。この35名は指導者の数で、参加者はもっとたくさんいる。活動量としては大きいものと思う。
(質問) サッカー・ソフトテニス・ゴルフのジュニアの団体は、体育協会に加盟している協会とは別組織として運営されているのか。
(回答) 活動そのものは別組織として行われている。
(意見) こうしたジュニアの活動が多くなってくると、体育協会で一元的な管理をすることを検討する必要があると思う。
(回答) 別組織として認識しているので、別に補助をしている。
(回答) 野球協会と学童部とは別な方がやっているなど、もともとの組織の成り立ちが違う。本来から言えば、ご指摘のような形に持っていくこととは思う。実際にやっている方がそのように考えていただければよいと思う。

- (質問) 昨年度の全国大会・関東大会出場団体の数は何団体だったか。

(回答) 17団体である。

青少年課

- (質問) ボーイスカウトに比べ、ガールスカウトの会員数が少ないが、ボーイスカウトはこの額で不足していないのか。
(回答) 両団体とも補助金額を上回る活動をしている。会員数に応じて補助金額を変えることの方が理解を得にくい状況である。

- 2) 社会教育関係団体の認定の取消しについて
生涯学習課長より報告し、了承された。

(3) 報告事項

1) 社会教育関係団体の解散の報告について

生涯学習課長より報告した。

2) 平成22年度事業計画について

各担当課(館)長より報告した。

委員からの質問及び意見は、次のとおり。

生涯学習課

(意見) 生涯学習支援システム構築事業について、千代田区の生涯学習推進委員会の会長である国立政策研究大学院大学の今野教授に紹介したところ、非常に注目をされていた。これからのIT社会で、誰もが学習できる一つの手段として注目できるシステムであると思う。もっとメニューが増えるとよい。

郷土博物館

(質問) 市民参加の事業が多いが、すべて市のHPに掲載されているのか。

(回答) HP等にすべて掲載している。

青少年センター

(質問) 青少年の実態として、今の課題は何か。

(回答) 街頭補導で声かけをしているが、一番多いのが自転車の二人乗りである。そのほか、たむろや迷惑行為がある。

公民館

(質問) 文化祭の日程が重なっているところはあるか。

(回答) 中央と富岡が10月9・10日、日の出と堀江が10月30・31日、美浜が9月25・26日に開催する予定である。

(質問) 夜の講座があまりないように思うが、何か理由があるのか。

(回答) 以前に開催したことはあるが、参加者数が比較的少なかったため、夜の講座はあまり開催していない。

(意見) 少ないとはいえ1事業でも開催する機会を設けなければ、仕事をしている人は市の生涯学習事業に参加できなくなるのではと思う。

(回答) 検討課題とする。

(4) その他

1) 次回会議日程について

次回の会議は、平成22年5月20日(木)午後2時から中央図書館視聴覚室で開催する。また、会議終了後に高洲公民館の見学を行う予定である。

以 上